



【実践発表動画の内容】 放映時間は、いずれの動画も約 20 分です。

講評動画 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ氏 放映時間：約 10 分

1 学校運営協議会導入期における取組（熊野町立熊野第三小学校）

コミュニティ・スクールの導入を計画している、あるいは導入しているが取組が思うように進まない等、導入期に直面する課題を解決していくための熟議の必要性和コーディネーターの役割の重要性について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域とのつながりをどのようにつくるか〔学校と地域の連携〕

2 教育課程の質的向上に向けた取組み（府中町立府中中央小学校）

学校の教育課程に地域が参画していくための段階的な取組や、中学校区における学校と地域との関わりを活性化していく工夫について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 地域と学校が“協働”するとは〔支援・協力から協働へ〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔カリキュラム・マネジメントへの参画〕
- ・ 幅広く継続的な支援を確保していくためには〔関係団体等とのネットワークづくり〕

3 「社会に開かれた教育課程」でつなぐ中学校区の取組（三次市立三次中学校）

キャリア教育を基軸として、育てたい資質・能力を共有した学校と地域との双方向の学びづくりの取組や、中学校区で取り組むコミュニティ・スクールの仕組みを活用したカリキュラムづくりについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ “大人の学び”・“子供の学び”とは〔学校と地域の協働〕
- ・ 幅広く継続的な支援を確保していくためには〔関係団体等とのネットワークづくり〕

4 学校のカリキュラムと地域等の連携・協働の取組（日彰館高等学校）

地域の高等学校として地域を支える人材を育成するために、学校と地域で協働した教育課程を編成しています。コミュニティ・スクールの仕組みを活用した協働体制の構築のポイントについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな生徒を育てたいか（育てたい生徒像の共有）
- ・ 学校・地域それぞれの役割とは〔学校・地域が担うべき役割〕
- ・ 学校と地域が連携して教育課程を編成するには〔カリキュラム・マネジメントへの参画〕

5 学校運営協議会を通して実現した地域協働・社会貢献活動の取組（庄原特別支援学校）

共生社会の形成、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、児童生徒の学びが社会と効果的につながるための学校運営協議会の役割、教職員と学校運営協議会委員が協働した学びづくりについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 教職員が参画しやすい学校運営協議会とは〔学校運営協議会の活性化〕
- ・ 学校の教育活動に活かしたい地域の教育力とは〔地域資源の活用〕
- ・ 地域における児童生徒の学びの意義とは〔共生社会づくり〕

【制度の概要等が学べる動画】NITS（独立行政法人教職員支援機構）研修動画

※講師の所属・職名は撮影当時のものです。

- 「『地域に開かれた学校』から『地域とともにある学校』へ」：校内研修シリーズ No. 24
（講師：文部科学省初等中等教育局 参事官 木村直人氏）

なぜ学校と地域との「連携・協働」が必要なのか、その背景や現状の課題、目指すべき連携・協働の姿について説明しています。そして、「社会に開かれた教育課程」の実現とコミュニティ・スクールとの関係や、地域とともにある学校の運営において大切な視点「熟議・協働・マネジメント」を解説しています。

- 「地域とともにある学校づくり」：校内研修シリーズ No. 136
（講師：国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ氏）

「コミュニティ・スクールの必要性」「地域学校協働活動とは」「地域とともにある学校づくりの進め方」の3点について、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施することに注目し、具体例を交えながら解説をしています。